

無人化施工システムの受賞について

(一社)日本ロボット学会の第4回(2012年)「ロボット活用社会貢献賞」を建設無人化施工協会が受賞。

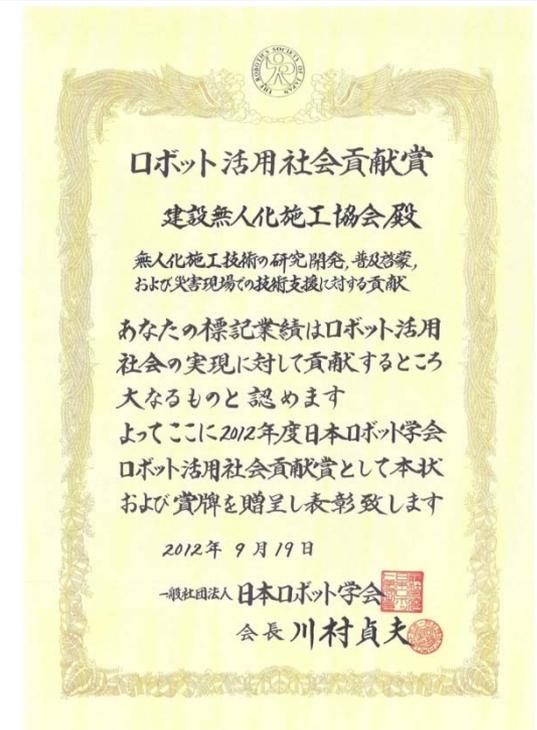
「ロボット活用社会貢献賞」とは

人類のあらゆる活動においてロボットあるいはロボティクスが活用される将来の「ロボット活用社会」の実現に向けて、ロボットやロボティクスを様々な形で社会に普及・浸透させ、あるいは社会を変革することで、力強い歩みを進めることを目的として、この歩みに大きく貢献する活動あるいは知見公表を主体的に行った者(個人または団体)に贈呈される賞。(一般社団法人日本ロボット学会 表彰委員会規程より)

近年の受賞者

第4回(2012年)

- 油田信一(芝浦工業大学), 田代泰典(ニューテクノロジー振興財団), 大久保剛史(つくば市経済部産業振興課)
 - 「つくばチャレンジ」の企画・実施によるロボット活用社会の実現に対する貢献
- **建設無人化施工協会**
 - **無人化施工技術の研究開発, 普及啓蒙, および災害現場での技術支援に対する貢献**



経済産業省および(一社)日本機械工業連合会が主催する「第5回ロボット大賞」で「ロボットビジネス／社会実装部門」の優秀賞を受賞。

「ロボット大賞」とは

国内で活躍したロボットの中から将来の市場創出への貢献度や期待度が高いロボットを選定し、表彰することにより、我が国のロボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すことを目的として実施されている。第5回より「ロボットビジネス／社会実装部門」を新設。

(経済産業省記者発表資料より)



東京電力福島第一原子力発電所
災害復旧工事 (鹿島建設(株))



野迫川村北股地区の斜面崩壊災害復旧工事
(熊谷組)